
環境活動レポート

2017年度

報告期間 2017年1月～12月

作成日 2018年3月6日

有限会社 川島 銘板

〒343-0812 埼玉県越谷市柳町1番地23号

[電話]048-964-1191

[FAX]048-964-1101

I 事業活動の概要

事業所名

有限会社 川島 銘板

代表取締役

宇田川 博

対象事業所（所在地）

本社・工場 埼玉県越谷市柳町1番地23号

第二工場 埼玉県越谷市越谷5-4284

環境管理責任者

宇田川 博

連絡先

048-964-1191

事業内容

アルマイト印刷、スクリーン印刷による金属、樹脂銘板（ネームプレート）の製造及び販売

事業の規模

資本金 300万円

社員数 10名

設立 昭和33年2月1日

商号変更 昭和44年7月1日

床面積 290㎡

Ⅱ 環境方針

環 境 理 念

有限会社 川島銘板は、銘板（ネームプレート）製造の事業活動をとおして、地球と地域の環境の保全に貢献します。

また、客先要求の環境方針に対応し、環境関連法規等を遵守します。

環 境 方 針

環境への取組みとして、特に次の事項に取り組めます。

- ◎二酸化炭素排出量の削減
- ◎廃棄物排出量の削減
- ◎総排水量の削減
- ◎化学物質の適正管理
- ◎周辺環境の美化
- ◎環境に配慮した資材の調達を目指す

環境方針を全社員に周知徹底し環境に対する意識向上に努めます。

平成18年7月1日
有限会社 川島銘板
代表取締役 宇田川 博

改定追記：2008.01.30

2011.1.11 継続、 2015.2.20 改訂

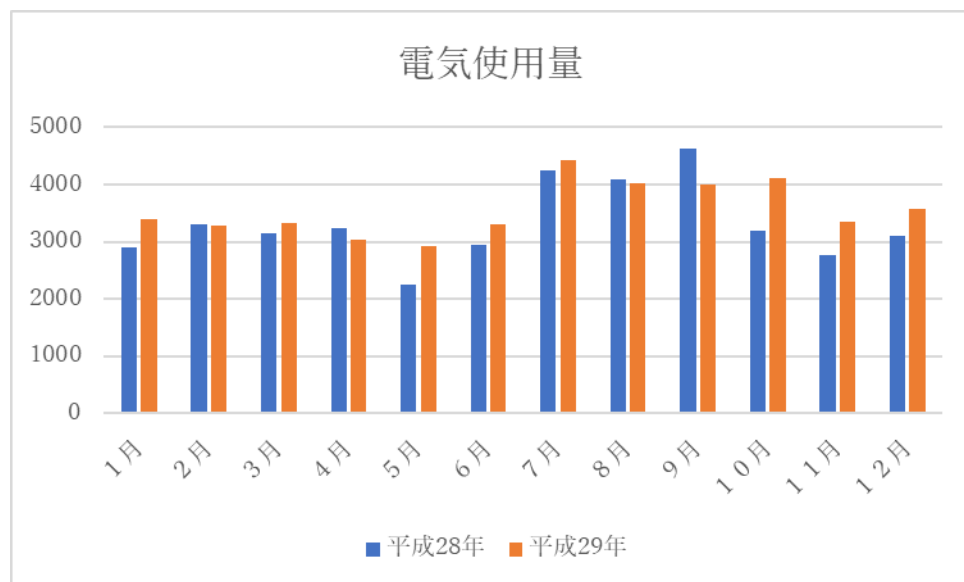
Ⅲ 2017年 環境目標とその実績

環境目標	2016年度 平成28年	2017年度 平成29年			2018年 30年度	2019年	2020年
	27年度実績	目標値 (前年維持)	実績	対前年実績	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2) 削減量	23,316.22 Kg-CO2	23,316.22	30,265.916 Kg-CO2	計算係数 変更	前年維持	←	←
電気使用量の削減 kWh	39,791	39,791	42,694	+7%	前年維持	←	←
ガソリン使用量の削減 L	1,444.82	1,444.82	1214	-16%	前年維持	←	←
廃棄物削減 (kg) : 金属 : 廃プラ	690kg 2年 980kg 2年	Kg Kg	400 Kg 760 Kg	%	-10% -10%	← ←	← ←
使用水量の削減 (m ³)	1,242	1,242	1375	+11%	前年維持	←	←
化学物質の適正管理		購入量、保管管理 : 適正に保管、管理が行われた					
グリーン購入		RoHs REACH 対応品の購入 : 対応品の購入を行った					
環境に配慮した製品作り		LED-UV インキジェットの活用、 : 稼働率の向上の為、客先試作開発費削減を UV インキジェット活用を提案している。					
周辺環境の美化		会社周辺の環境の美化に勤める。: 週1回の清掃を行った。					

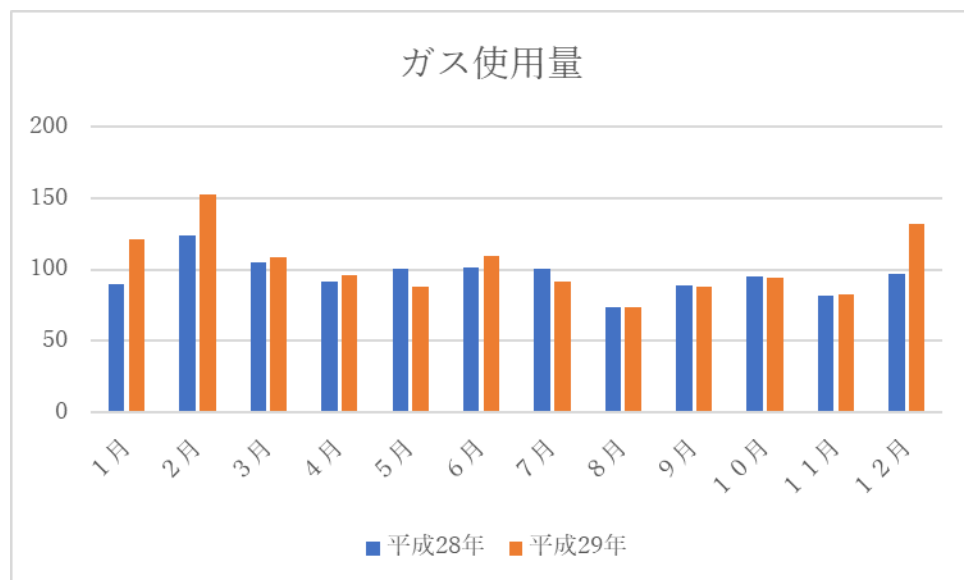
二酸化炭素排出量の排出係数は今年度より 0.447 (Kg-CO2・KWh) を使用。

(日本テクノ CO2 係数を使用)

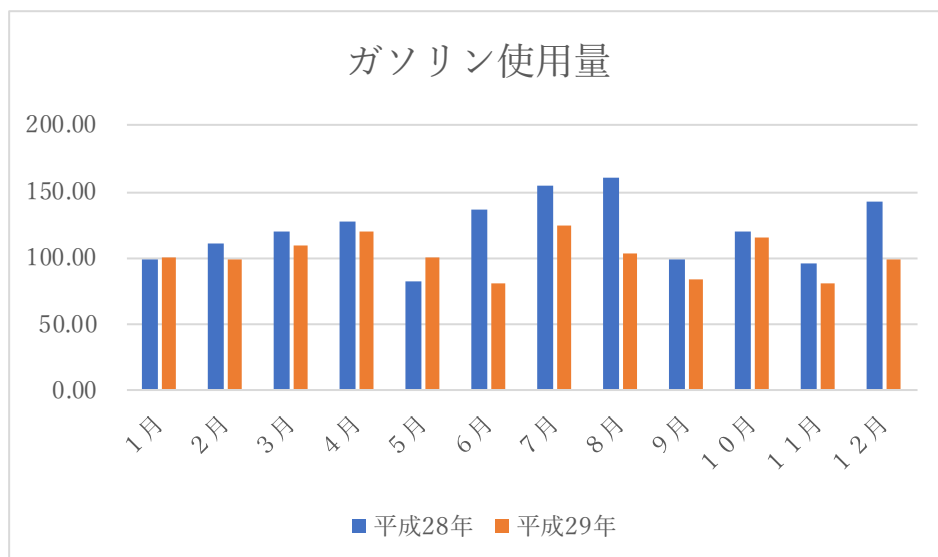
電気使用量 (kWh)



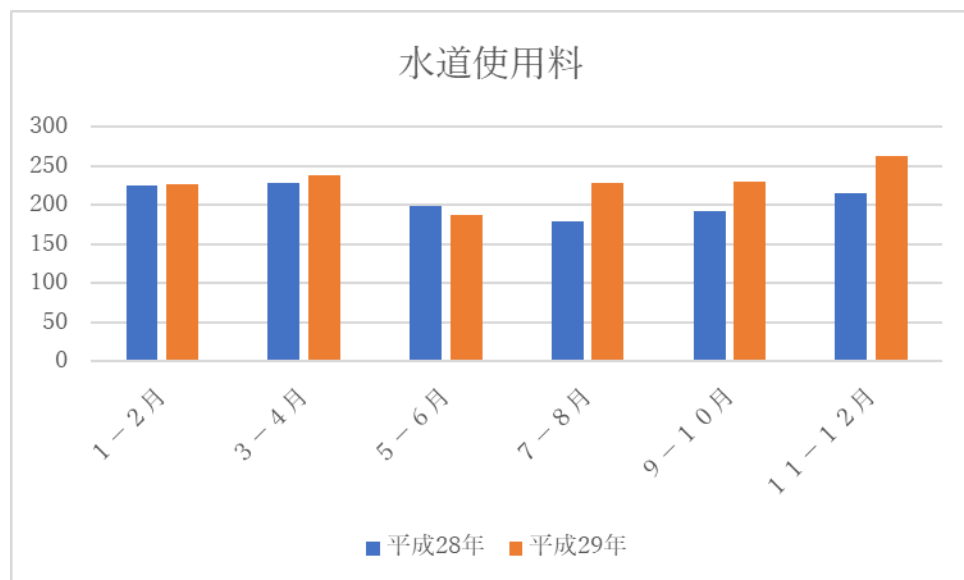
都市ガス 使用量 (m³)



ガソリン使用量 (L)



水道使用量 (m³)



IV 環境活動の内容と取組み結果の評価（今後の方向）

環境活動計画の内容	評価	達成状況	評価（今後の方向）
電気使用量の削減 ・省エネ目標説明 ・昼休みの消灯 ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・冷房28℃ 暖房24℃ ・蛍光灯のLED化	○ ○ ○ ○ ○	目標：39,791Kwh 実績：42,694Kwh 率：+7%（実績/目標）	目標不達 節電に取り組むも仕事量の増加、猛暑の影響で使用料が増加した。 冷暖房での電気削減 昼休みの消灯、PCの電源OFF 電気の見える化、業務用エアコンの入替
ガソリン使用量の削減 ・アイドリングストップ運動の推進 ・急発進急停止の防止運動の推進 ・燃費の良い車両に入れ替え	○ ○ ○	目標：1,444.82 実績：1214 率：-16%（実績/目標）	目標達成 燃費の向上を目標に取り組む 普通車1台をハイブリット車に入替。
産業廃棄物の削減 ・廃棄量の確認 ・ ・紙類の分別の徹底 ・両面コピーの推進	○ ○ ○	廃棄量： ダンボール、新聞古紙の分類 コピー用紙削減の為、両面を使用。 市条例に資源として出す。	次年度も引き続き、コピー用紙の両面使用に取り組む。古紙の資源化。
使用水量の削減 ・水道水削減目標説明 ・節水呼びかけ	○ ○	目標：1,242 m³ 実績 1,375 m ³ 率：-0.01%（実績/目標）	目標不達 節水の呼びかけにより削減に取り組むも アルバイト印刷の仕事量増加で使用料が増えた
会社周辺の美化	○	毎週月曜日の清掃	今後も引き続き行っていく。
グリーン購入	○		RoHS、REACH 対応品の購入 環境に配慮した製品の購入を進める
LED-UV 印刷			今後も拡販に努める。小ロット対応
化学物質管理		排水処理施設の維持管理 MSDS の管理	今後も継続。
総括 ・「ムリ、ムラ、ムダ」を念頭に削減に努める。 ・経費削減にさらに取り組む。 ・Q.C.D.S.E（しっかり、安く、早く、安全に、環境）に取り組む。			

V 代表者の見直し

エコアクション 21 に取り組み 10 年が経過し、削減にも限界に来ています。
客先数も仕事量も増えて、電気、水道の使用量が増えた。

今後も全社で日本テクノのオンデマンドシステム、電気の見える化を利用し無駄使いをしない心がけを行っていく。

資源を無駄使いせず環境負荷物質の削減を徹底し生産活動を続ける。

VII 環境関連法規制等の順守状況

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去 3 年間にわたって違反や訴訟もありません。 以上。